

情報資源の管理と提供

嶋田拓哉(東洋大学)

<テーマの内容>

目録・分類をはじめとする情報資源の組織化にかかる最近の動向と、情報資源の特性に基づく管理・提供に関する諸課題について学ぶ。

<科目のねらい>

- (1) 情報資源の組織化と書誌コントロールに関する最近の動向を学ぶ。
- (2) 図書館における情報検索や利用に関する理解を深める。
- (3) 各情報資源(図書、電子資料等)の特性に応じた管理・提供について学ぶとともに、それに伴う諸課題への対応について考える。
- (4) 知識・資源の活用と広域管理の可能性について考える。

はじめに

- ・ 図書館を取り巻く環境と情報資源の組織化(情報資源組織←資料組織)
- 目録作成の位置づけ
- ・ 司書としての専門的知識を要求される領域(司書の専門性)
- 変化が求められる時代
- ・ 変化が求められる背景：インターネットの存在
- ・ 目録サービス(OPACなど)
- ・ 目録法(目録規則など)
- ・ 目録作成の体制(書誌コントロールにかかわる政策など)

1. 目録を取り巻く環境の変化

- ・ コンピュータ化(「カード」から「コンピュータ」へ)
- ・ 書誌ユーティリティの登場(「単館」から「複数館、ネットワーク」へ)
- ・ 「目録の危機」

2. 次世代 OPAC の動向

- ・カード目録の電子版的な位置づけから、キーワード検索、ブール演算（論理演算）も可能に
- ・「次世代」OPAC
- ・日本における次世代 OPAC
- ・その他

3. 目録規則の動向

- ・枠組み自体は 1960～1970 年代に確立され、その改訂が 1990 年後半から 2000 年代半ばまでに一段落した。
- ・抜本的な見直し
- ・FRBR（書誌レコードの機能要件）
- ・RDA（資源の記述とアクセス）
- ・RDA の特徴
- ・『日本目録規則』（NCR）の動向 ⇒201X 年版？
- 「『日本目録規則』の改訂に向けて」（2010 年 9 月）日本図書館協会目録委員会
- 「『日本目録規則』改訂の基本方針」（2013 年 8 月）日本図書館協会目録委員会、国立国会図書館収集書誌部

4. 書誌コントロールにかかわる動向

- 「On the Record」（2008 年 1 月）米国議会図書館「書誌コントロールの将来 WG」報告書

NDL

- 「書誌データの作成・提供の方針（2008）」（2008 年 3 月）
- 「国立国会図書館の書誌サービスの新展開（2009）」（2009 年 5 月）
- 「国立国会図書館の書誌データ作成・提供の新展開（2013）」（2013 年 2 月）

NII

- 「次世代目録所在情報サービスの在り方について（最終報告）」（2009 年 3 月）
国立情報学研究所「次世代目録 WG」が、国立情報学研究所および目録所在情報サービスの参加機関が取り組むべき課題についてまとめた。

5. 分類・件名の動向

- 分類
- 件名

6. おわりに